



小児がん拠点病院の現況

北海道ブロック
北海道大学病院

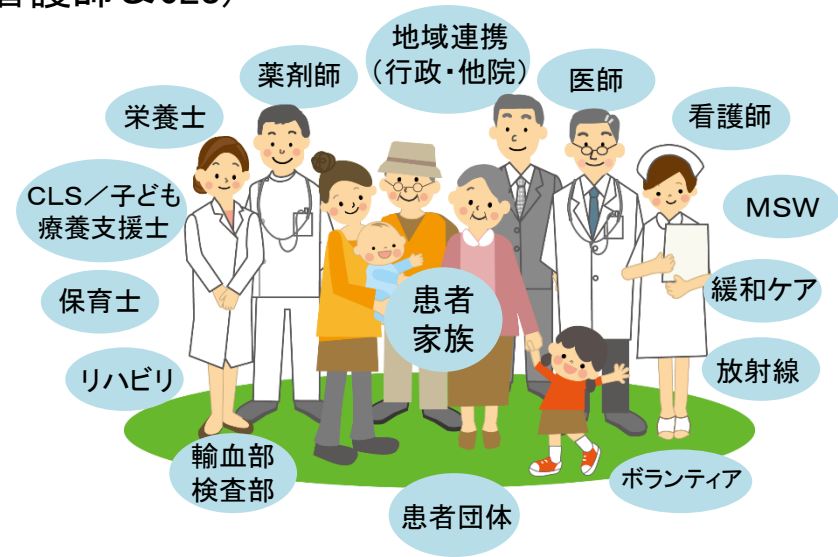
小児がん拠点病院としての進捗 (北海道大学病院) (1)

(1) チームによる集学的治療の実施

- ・ キャンサーボードの定例化。緩和ケアチーム、若手医師、研修医および社会福祉士も参加
- ・ 療育やプレパレーションなどの積極的な展開 (看護師&CLS)

(2) 再発・難治がんへの対応

- ・ 腫瘍センター内に小児がんチームが設置され専任の教員が採用
- ・ 小児造血幹細胞移植専用の無菌室が増設
- ・ 新規治療や治験への積極的参加



(3) 病床確保の対応

- ・ 新規の症例はほぼ即日入院可能。

(4) 思春期のがん患者への診療と長期フォローアップ

- ・ 小児がん診療に病院全体で取り組む体制を構築 (小児がん拠点病院推進事業会議が設立)
- ・ 長期フォロー、生殖細胞保存など院内WGが設置され小児と成人の診療科の連携が確認

(5) 他の小児がん診療病院との連携

- ・ 北海道全域 (他大学病院を含む) から患者を受け入れ
- ・ 定期的な研究会や症例検討会が開催

小児がん拠点病院としての進捗(北海道大学病院)(2)

(6)地域連携のための取り組み

- ・小児がん専門医だけでなく小児神経や内分泌専門医などの地域中核病院での出張外来の開設
- ・在宅医療機関と連携を強化
- ・地域中核病院での講演会・勉強会開催
- ・陽子線治療のための全道ネットワークの構築

(7)人材育成・交流、講演会開催

- ・小児がん勉強会、カンファレンス、講演会の定例化。
- ・カンファレンスへの積極的な緩和ケアチームの参加

(8)臨床研究への参加

- ・JCCG(JPLSGを含む)などの多施設共同研究(従来通り)
- ・小児がん拠点病院を中心とした臨床研究の開始

(9)行政(北海道)との連携

- ・2013年度に北海道の委託事業により北海道内の小児がん診療の実態調査を実施
- ・北海道全体の協議会である小児がん医療連携体制検討小委員会が定期的に行われている。

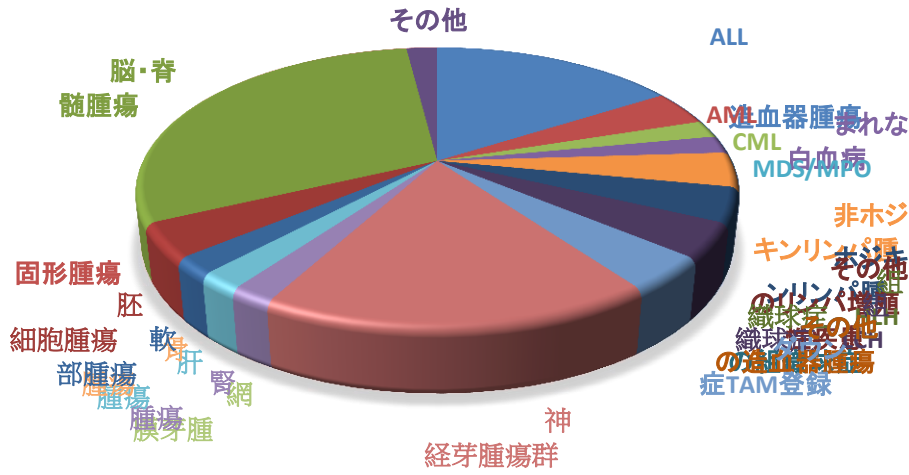
(10)院内学級の整備、特に教員の増員。

- ・2015年度から小中学部の分校化が実現し教員数増加しベッドサイドでの授業がようやく実現
- ・高等部設置について引き続き交渉中。

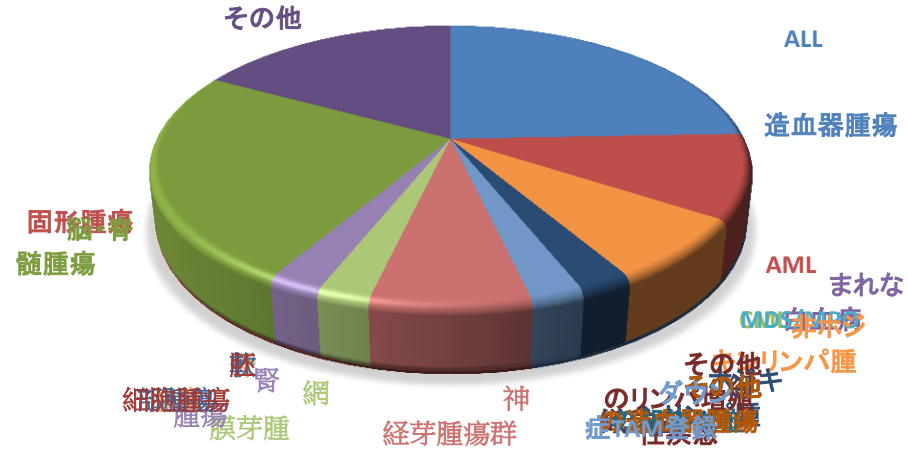
診療実績(2)

	平成24年	平成25年	平成26年	計
造血器腫瘍	20件	27件	19件	66件
ALL	8件	8件	10件	26件
AML	2件	6件	4件	12件
CML	1件	1件	0件	2件
まれな白血病	1件	0件	0件	1件
MDS/MPO	0件	2件	0件	2件
非ホジキンリンパ腫	2件	4件	3件	9件
ホジキンリンパ腫	2件	1件	1件	4件
その他のリンパ増殖性疾患	0件	0件	0件	0件
組織球症 HLH	0件	0件	0件	0件
組織球症 LCH	2件	2件	0件	4件
その他の組織球症	0件	0件	0件	0件
その他の造血器腫瘍	0件	0件	0件	0件
ダウン症TAM登録	2件	3件	1件	6件
固形腫瘍	30件	36件	22件	88件
神経芽腫瘍群	9件	4件	3件	16件
網膜芽腫	0件	0件	1件	1件
腎腫瘍	1件	1件	1件	3件
肝腫瘍	1件	0件	0件	1件
骨腫瘍	0件	0件	0件	0件
軟部腫瘍	1件	2件	0件	3件
胚細胞腫瘍	2件	2件	0件	4件
脳・脊髄腫瘍	15件	25件	10件	50件
その他	1件	2件	7件	10件

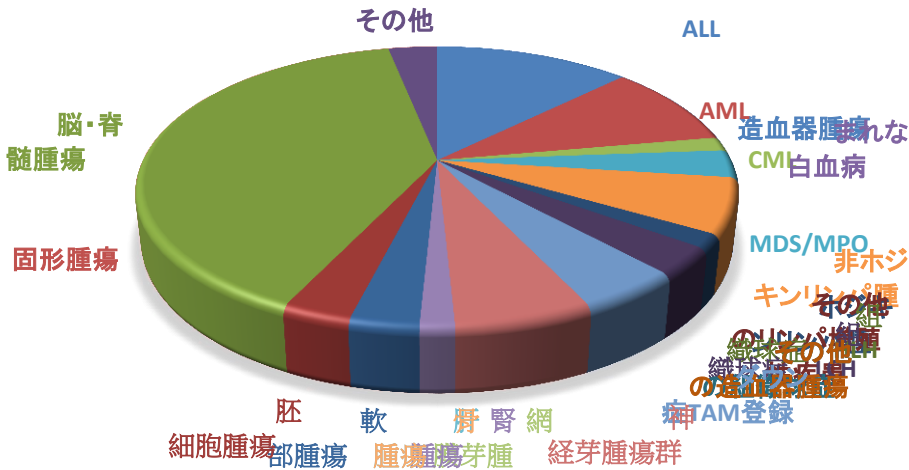
平成24年



平成26年



平成25年



診療実績(2)

	平成24年	平成25年	平成26年
小児がん入院患者延べ数	114人	155人	149人
小児がん入院在院延べ日数	6,273日	8,953日	5,789日
全入院患者延べ数	15,786人	15,811人	16,608人
全入院患者入院在院延べ日数	284,927日	282,118日	279,867日
地域連携			
他施設から紹介された小児がん患者数	47人	58人	37人
小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	31件	40件	25件
小児がん患者の他施設への紹介患者数	15人	14人	23人
小児がん患者を紹介した医療機関数	14件	11件	20件
緩和ケア			
緩和ケアチーム新規診療小児がん患者数	1件	4件	1件
相談支援センター相談件数	9件	8件	53件
セカンドオピニオン小児がん患者数	1件	1件	1件
再発患者数			
造血器腫瘍	14人	9人	4人
脳脊髄腫瘍	19人	8人	17人
固形腫瘍	2人	9人	5人

集学的治療および標準的治療の提供と地域連携

1)多職種カンファレンス

①小児がんチームカンファレンス(週1回)

構成員:小児科医師、小児外科医師、脳神経外科医師、看護師、薬剤師、
社会福祉士、子ども療養支援士、その他対象部署の関係者など

②小児移植カンファレンス(造血幹細胞移植全症例の移植治療開始前)

構成員:小児科医師、小児歯科医師、歯科衛生士、看護師、栄養士、薬剤師
社会福祉士、子ども療養支援士、その他対象部署の関係者など

2)緩和ケアの整備

北海道大学病院の緩和ケアチームとの連携で行っている。

構成員:腫瘍センター医師、精神科医師、麻酔科医師、看護師、臨床心理士、
その他対象部署の関係者など

緩和ケアチームが小児がん患者のカンファレンスやキャンサーボードに参加

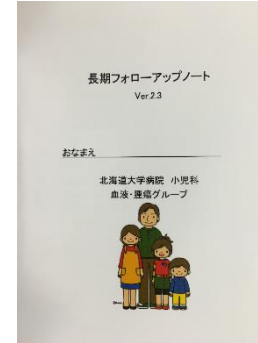
集学的治療および標準的治療の提供と地域連携

3) 長期フォローアップ外来

木曜と金曜の午後を中心として、長期フォローアップ外来を開設。
長期フォローアップノートやサポートブックを作成して診療を行っている。

専任医師: 3名

外来患者数: 10-20歳 のべ561名
20-30歳 のべ108名
30歳以上 のべ13名



もくじ	
1. 小児がん相談窓口について	(6) 志村大輔基金 (精子保存)
(1) 小児がん相談員とは	(7) オーダーメイドウィッグ提供事業
(2) 相談支援機関	(8) フォミリンハウス (家族療育施設)
2. 医療費に関するもの	(9) ベートリンク共済 (生命保険)
(1) 小児慢性特定疾病医療費助成	3. 教育・就業支援
(2) 乳がん (子ども) 医療費助成	(1) 教育相談や発達支援に関すること
(3) 難病医療費助成	(2) 就学支援に関すること
(4) 自立支援医療 (育成医療)	6. 患者会・支援団体
(5) 重症心身障害者医療費助成	(1) 小児がん経験者の会
(6) 海胆産養費制度	(2) 網走半島産科の子どももつ家族の会「すくすく」
(7) 税金の医療費控除	(3) そふぶちんキャンプ
3. 病気や治療にもなろう種別にに関するもの	(4) 若年性がん患者団体 Stand up?
(1) 身体障害者手帳	(5) はなこれの会 (グリーフケア)
(2) 療育手帳	7. 情報収集
(3) 障害者給付支援給 (福祉サービス)	(1) 小児がん情報サービス
(4) 特別児童手帳	(2) がんの子どもを守る会
(5) 障害児福祉手当	
(6) 小児慢性特定疾病日常生活用具給付事業	
4. 療養生活支援	
(1) 小児がん交通費等補助金制度	
(2) がんの子どもを守る会療養費助成	
(3) アフターケア小児がん経験者奨学金制度	
(4) がん「ほ」おかけ小児がん経験者奨学金制度 (大学の部)	
(5) こうのりマラーソン基金 (精子保存)	

4) 長期フォローアップのための北海道大学病院全体としての取り組み

小児がん長期フォローアップのためのWG

構成員: 小児科医、内科医、婦人科医、泌尿器科医、精神科医、放射線科医、脳神経外科医、看護師、社会福祉士、子ども療養支援士、事務担当者。

生殖細胞保存のためのWG

構成員: 小児科医、内科医、婦人科医、泌尿器科医、精神科医、放射線科医、乳腺外科医、脳神経外科医、看護師、社会福祉士、子ども療養支援士、事務担当者。

事業実績報告

病院名：北海道大学病院

平成26年度小児がん拠点病院機能強化事業費 1,371万円

・小児がん医療従事者研修事業 303万円

(事業内容) 院内外の医療従事者等を対象とした研修会

(支出内訳) 講師謝金・旅費 10.2万円、大型プリンター 139.9万円、研修用医学書 56.9万円、会場借上げ23.7万円、事務用品等 68.8万円、案内文印刷・発送 3.5万円

・院内がん登録促進事業 108.4万円

(事業内容) 院内がん登録 2,735件

(支出内訳): 移動棚 99.9万円、事務用品等 8.5万円

・がん相談支援事業 354万円

(事業内容) 電話相談含め1,896件に対応。市民公開講座(1回)

(支出内訳) 相談支援員(1名)給料等 262.4万円

がんサロン講師謝金・旅費 6.8万円、連絡協議会旅費等 33.8万円

会場借上げ 14.4万円、事務用品等 24.8万円、案内文印刷・発送 11.8万円

・プレイルーム運営事業 238万円

(事業内容) 音楽家を招聘してミニコンサート、七夕、クリスマス会等を開催

(支出内訳) 収納棚等 52.5万円、図書・玩具 184.6万円、ピアノ調律 0.9万円

・入院患者家族支援事業 367.6万円

(事業内容) 小児がん患者の家族が利用するファミリーハウスの施設運営

(支出内訳) 冷蔵庫等 78.9万円、管理業務委託費 274.4万円

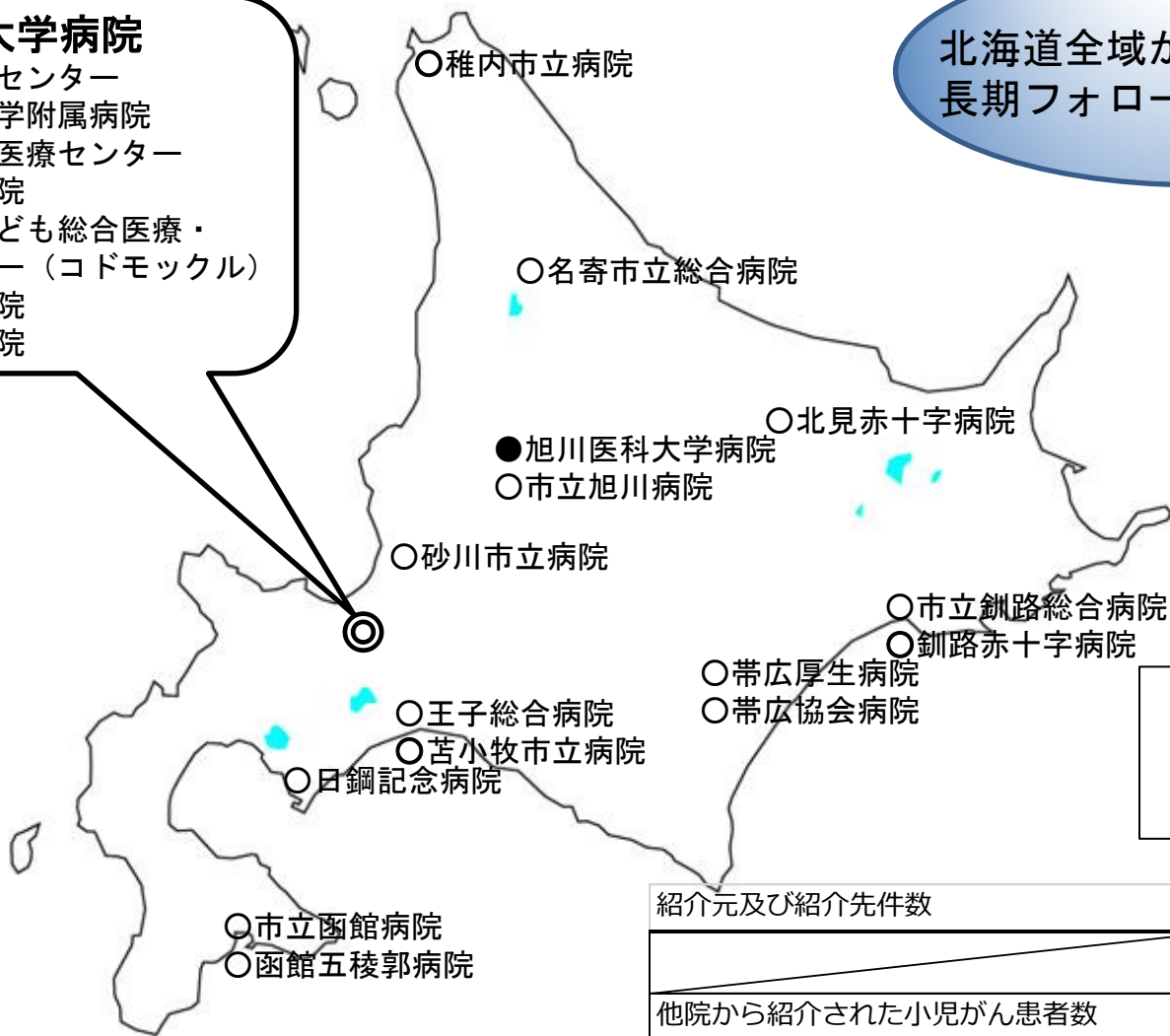
ファミリーハウス利用案内パンフレット印刷 14.3万円

北海道ブロックの概要

★北海道大学病院

- 北海道がんセンター
- 札幌医科大学附属病院
- KKR札幌医療センター
- 札幌北楡病院
- 北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）
- 千歳市立病院
- 市立小樽病院

北海道全域から患者を受入れ
長期フォローアップの連携



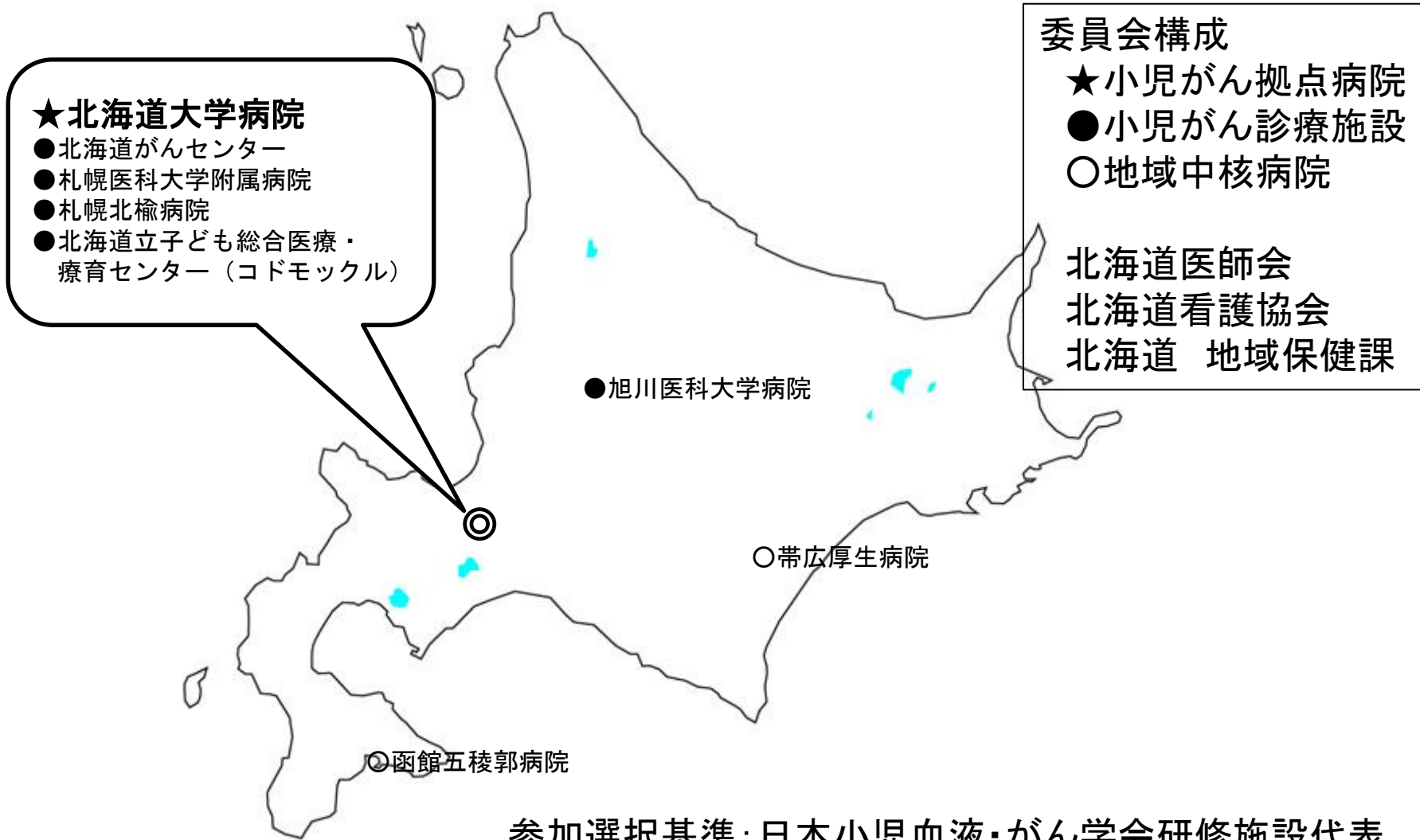
★小児がん拠点病院

- 小児がん診療施設
- 地域中核病院

紹介元及び紹介先件数

	2012年	2013年	2014年
他院から紹介された小児がん患者数	47	58	37
小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	31	40	25
小児がん患者の他施設への紹介患者	15	14	23
小児がん患者を紹介した医療機関数	14	11	20

北海道小児がん医療連携体制検討小委員会



参加選択基準：日本小児血液・がん学会研修施設代表
地域中核病院の代表
医師会、看護協会、行政の各代表

北海道ブロック内の連携のための具体的方法

1) 人材育成

日本小児血液・がん専門医研修施設研修プログラム(北海道大学病院)

小児ケア勉強会(対象:医師、看護師、薬剤師等)

①1回/週で小児科病棟で定例開催

小児がん拠点病院研修会(対象:医師、看護師、薬剤師など広く一般にも案内)

①2013.11.20 小児がん拠点病院、小児がん診療について

②2014.8.16 小児がんのチーム医療

③2015.7.18 小児緩和ケアの理念と実践

北海道大学病院小児がん拠点病院市民公開講座(対象:医師、看護師、薬剤師など広く一般にも案内)

①2015.1.31子どものがんとは、日本のがん対策、インフォームド・アセント、病弱教育、きょうだいの支援、移行期支援、小児の在宅緩和ケア

②2015.12.20 プレパレーションってなに? ~病気と闘う子どもが自分の力を発揮できるように支えるケア

2) 診療病院情報の収集と提供

北海道の小児がん診療施設との研究会、勉強会

(1)北海道小児血液研究会(1回/年 定例)

(2)北海道小児がん研究会(1回/年 定例)

(3)北海道脳腫瘍治療研究会(1回/年 定例)

(4)北海道小児血液セミナー(1回/年 定例の道内3大学勉強会) など

地域での研究会・勉強会

2015.9.15 北見赤十字病院がん対策推進室主催勉強会「小児急性リンパ性白血病の治療」

紹介元、紹介先(1)

地域の中核病院

JCHO札幌北辰病院

JCHO北海道病院

JR札幌病院

KKR札幌医療センター

NTT東日本札幌病院

社会医療法人医仁会中村記念病院

医療法人溪仁会手稲溪仁会病院

医療法人溪和会江別病院

医療法人札幌麻生脳神経外科病院

医療法人徳洲会札幌徳洲会病院

医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院

北見赤十字病院

苫小牧市立病院

特定医療法人柏葉脳神経外科病院

釧路労災病院

函館脳神経外科病院

北海道脳神経外科記念病院

留萌市立病院広域紋別病院

国立病院機構北海道医療センター

JA北海道厚生連帯広厚生病院

旭川赤十字病院

医療法人王子総合病院

医療法人北翔会岩見沢北翔会病院

岩見沢市立総合病院

小樽市立病院

総合病院釧路赤十字病院

社会医療法人母恋天使病院

財団法人小児愛育協会附属愛育病院

江別市立病院

市立札幌病院

市立千歳市民病院

社会医療法人母恋日鋼記念病院

社会福祉法人函館厚生院函館中央病院

製鉄記念室蘭病院

道東脳神経外科病院

紹介元、紹介先(2)

大学病院、小児がん診療施設

旭川医科大学病院

札幌医科大学病院

北海道医療大学病院

北海道立子ども総合医療・療育センター

国立病院機構北海道がんセンター

札幌北楡病院

クリニック

さわむら脳神経クリニック

ふじた眼科クリニック

青山歯科クリニック

医療法人 溪仁会 手稲 溪仁会クリニック

医療法人社団 小林皮膚科クリニック

医療法人 二樹会 足立外科クリニック

大塚眼科病院

札幌北脳神経外科

西11丁目駅前おさない眼科

特定医療法人 ところはる 東栄病院

大川原脳神経外科病院

行政

札幌市保健所

札幌市清田保健センター

札幌市保健福祉局衛生研究所

札幌市豊平保健センター

北海道立衛生研究所

道外施設

埼玉県立小児医療センター

東京都立小児総合医療センター

東京大学医学部附属病院

国立がん研究センター中央病院

宮城県立こども病院

福島県立医科大学附属病院

国立大学法人九州大学病院

三重大学医学部附属病院

滋賀医科大学医学部附属病院

自治医科大学附属病院

名古屋市立大学病院

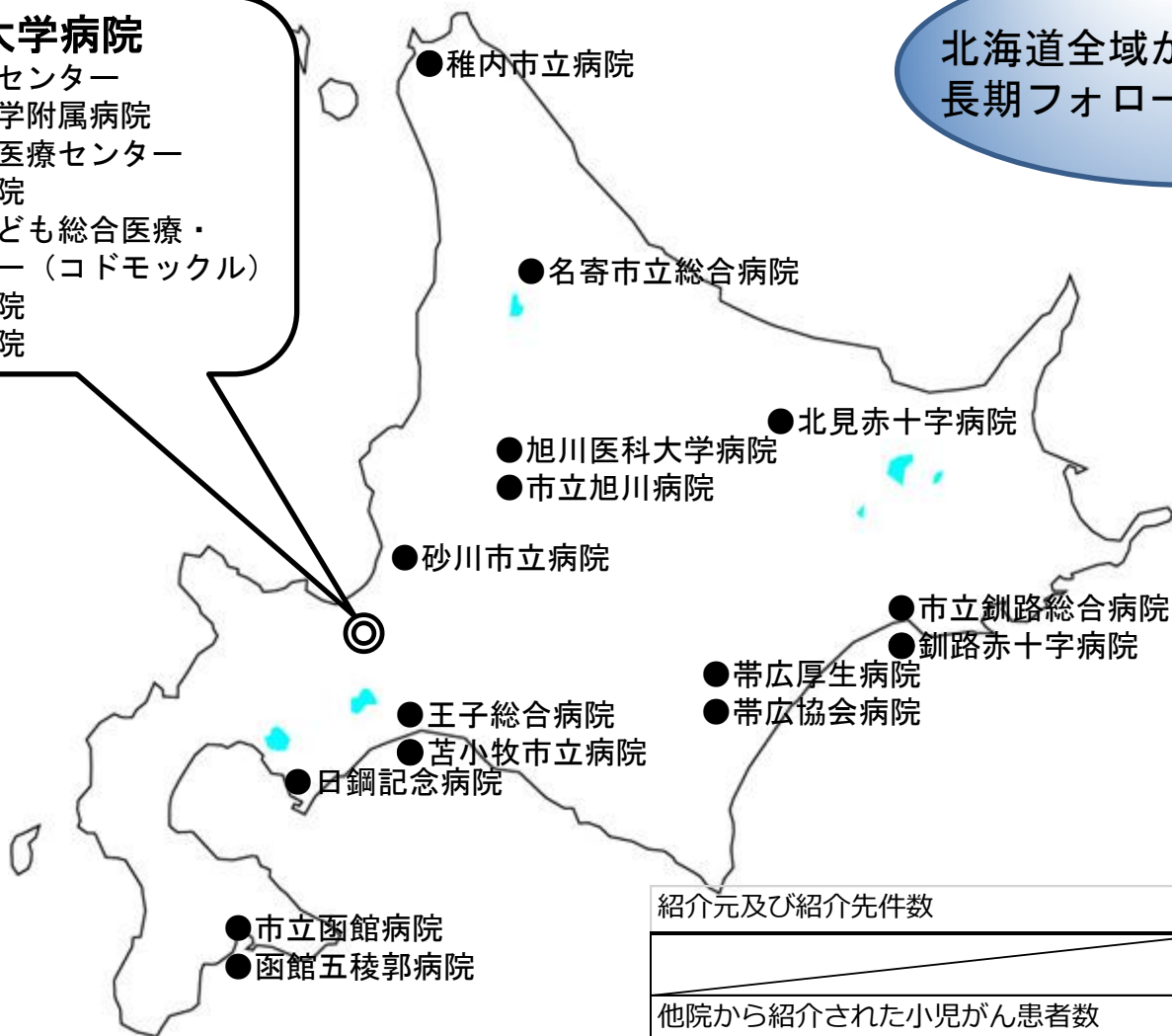
名古屋大学医学部附属病院

北海道ブロックの概要

★北海道大学病院

- 北海道がんセンター
- 札幌医科大学附属病院
- KKR札幌医療センター
- 札幌北榆病院
- 北海道立子ども総合医療・療育センター（コドモックル）
- 千歳市立病院
- 市立小樽病院

北海道全域から患者を受入れ
長期フォローアップの連携



紹介元及び紹介先件数

	2012年	2013年	2014年
他院から紹介された小児がん患者数	47	58	37
小児がん患者の紹介を受けた医療機関数	31	40	25
小児がん患者の他施設への紹介患者	15	14	23
小児がん患者を紹介した医療機関数	14	11	20